

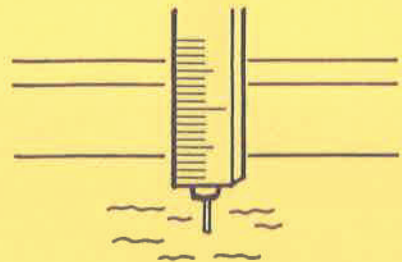
# 「トップレベラー」の施工要領

正しい施工は安全・安心の基礎づくり

## 〔同日施工の場合〕

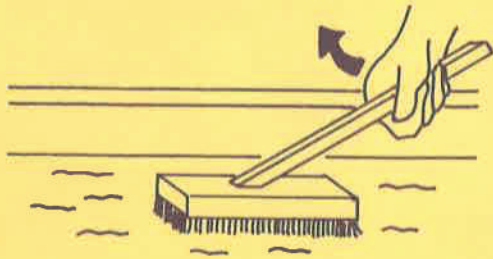
1. コンクリートを打設しましたか？
2. トップレベラーの標点を設定してください。

コンクリート打設後沈下が止まってから（夏期2～3時間後  
冬期4～5時間後）まず、コンクリートの天端の一番高い  
所を選び天端巾中央に釘（4～5 cm程度）を釘の頭部まで  
1 cmになるように打ち込みます。  
これを標点とし、順次70 cm～1 m間隔で打ち込んでください。



コンクリート上面に残っている浮き水は、  
剥離の原因となりますので、水刷毛等で  
除去して下さい。

3. 浮き水は剥離の原因です。



4. トップレベラーはわずかなすき間でも流出します。

型枠のすき間は普通セメントないし、トップレベラーを固練りして充填して下さい。

5. よく混ぜると、流動性も良くなります。

標準調合 トップレベラー1袋(25kg) + 清水6.0～6.5ℓ

練り混ぜ方法 1) 計量した水を混練りようバケツに入れる。  
2) ハンドミキサーで攪拌しながら、トップレベラーを徐々に投入する。  
3) 投入後、必ず3分間以上攪拌する。一度に2袋練り混ぜる場合、  
必ず5分間、3袋の場合は必ず7分間を標準攪拌時間とします。

6. 流し込み

浮き水が蒸発し表面が乾燥状態になった場合、水を含ませた水刷毛などで表面を拭い、エフロ  
等を除去すると同時に湿りを与えて下さい。

流し込みは、セットされた釘の頭部（標点）まで徐々に流して下さい。

7. 流し込み終了後

トップレベラー流し込み終了後、表面をとんぼ又はへら等で軽く馴染らし、特に流  
し込み間隔継ぎ目などを重点的に馴染らすよう心掛けて下さい。

8. 養生

施工後1日以上はシート等で養生して下さい。

9. 注意事項

- ・気温が5℃以下になる恐れのある場合、施工を避けてください。
- ・他の材料は絶対に混ぜないで下さい。
- ・セメント同様に、屋内で湿気の少ない場所に保管して下さい。

# 施工方法

